

| | |
|------|--|
| タイトル | 発電や自動車に水素またはエネルギーキャリアを用いた水素社会実現への貢献 |
| 内容 | <p>ガソリン自動車は化石燃料を用いるため、走行時にCO2を排出する。一方、水素を燃料とした燃料電池自動車やバスは、走行時にCO2を排出しない。さらに水素は化石燃料・再生可能エネルギーからの製造が可能であり、エネルギー供給源の多様化に寄与する。このような水素技術を活用することで化石燃料依存を低減し、CO2削減に貢献することが可能である。</p> <p>本プロジェクトは水素を活用したクリーンで経済的な大会開催に向けて、以下の取組を推進する。</p> <p>①再生可能エネルギー等による高効率・低コストな水素の製造、輸送、有機ハイドライド等のエネルギーキャリアを利用した水素供給を目指す。</p> <p>②有機ハイドライドを燃料とした直接型水素燃料電池や水素の利用拡大に資する水素発電等の利用技術を確認するとともに、東京都等が設置を促進する水素ステーションに係る設備の設置基準や安全基準の整備、さらに燃料電池バスや自動車を活用し、大会で以下のような事項を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料電池バスによる選手・観客輸送、燃料電池自動車による競技のサポート ・選手村、競技場へのエネルギー供給の一部を水素エネルギーで実施 |

■プロジェクトイメージ

- 燃料電池バスによる選手・観客輸送、燃料電池自動車による競技支援
- 選手村・競技場へのエネルギー供給の一部を水素化

